

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00068）

事務事業名称		文化・芸術の振興				款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	072							
現担当課名		文化・交流課		係名		文化振興担当係		連絡先電話番号		3783		昨年度整理番号		068								
上位施策No・施策名										30 文化・芸術の振興		予算事業区分		既定事業								
事務事業の概要	事業開始		実行計画事業		目標	05	施策	30	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成26年度担当課名		文化・交流課									事業評価区分		一般								
	対象		区民、文化・芸術団体		根拠法令等		(1)		杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書													
							(2)		杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱													
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になります。		活動指標		指標名（1）		日本フィルとの友好提携事業の実施回数													
						指標説明		後援・共催名義使用承認事業実施件数														
						指標名（2）		後援・共催により実施した事業の参加者数														
						指標説明																
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用（企画展や区民貸し出し）等を中心とした文化・芸術事業を実施する。区民や団体が行う文化・芸術活動の後援・共催等を行う。		成果指標		指標名（1）		日本フィルとの友好提携事業の参加者数														
						指標説明		後援・共催により実施した事業の参加者数														
						指標名（2）																
						指標説明																
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度													
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）													
指標	活動指標（1）	1	回	39	39	39	40	40	38	100.0												
	活動指標（2）	2	件	52	60	67	60	52	60	86.7												
	成果指標（1）	3	人	14,017	15,000	15,322	15,000	13,622	14,000	90.8												
	成果指標（2）	4	人	234,315	200,000	190,315	200,000	252,498	210,000	126.2												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	43,653	64,275	49,389	65,154	58,243	64,946	平成26年度予算執行率（%）	89.4											
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項												
	（内）委託費	7	千円	8,035	18,414	11,778	18,597	17,579	18,614	杉並ゆかりの文化人アーカイブ事業において、制作本数が25年度2本から26年度は3本に増えたこと等により事業費が増加しました。												
	職員数	常勤職員数	8	人	3.79	3.00	3.36	3.00	3.32	3.00	情報紙発行経費の契約単価の減、発行部数の減等により執行残が生じました。											
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00												
		非常勤職員数	10	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00												
	人件費	常勤職員分	11	千円	32,973	25,890	28,997	26,430	29,249	26,430												
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0												
		非常勤職員分	13	千円	8,250	8,340	8,340	8,490	8,490	8,490												
	総事業費	14	千円	84,876	98,505	86,726	100,074	95,982	99,866													
	単位あたりコスト	15	円	2,176,308	2,525,769	2,223,744	2,501,850	2,399,550	2,628,053													
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0												
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0												
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0												
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0													
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0													
差引：一般財源		21	千円	84,876	98,505	86,726	100,074	95,982	99,866													
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0														

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	072
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		日本フィルとの友好提携事業	40	件	17,214
		杉並公会堂利用料	23	件	11,925
		文化・芸術活動の助成	22	件	8,547
		アーカイブ事業	3	件	7,298
		その他（情報紙の発行ほか）			13,259
(2) 事業実績	<p>日本フィル友好提携事業では、日本フィル、杉並公会堂、区の協働による「日本フィル杉並公会堂シリーズ」を4回、公開リハーサルを5回、学校への出張音楽教室を10回、エデュケーションフェスティバルを1回等、計40回実施しました。文化・芸術活動の助成については、企画提案事業1件、大会等参加支援事業2件を含め計22件の助成を行いました。また、杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動の軌跡を、区の貴重な文化財産として記録・保存し、後世に伝えるためのアーカイブ事業は、3作品を制作しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査(H20) 地域文化の振興施策 評価できる=7.9% 要望が高い=6.3%                      区民意向調査(H27) 地域文化の振興施策 評価できる=12.9% 要望が高い=7.4%</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>20周年を迎えた日本フィル友好提携事業は、春休みの催しとして定着したエデュケーションフェスティバルをはじめ、区役所ロビーコンサート、公開リハーサル等、毎回多くの区民参加があり、アンケートの結果も「とても素敵な演奏だった」「子どもも大人も楽しめたプログラムであった」など好評です。また、杉並にゆかりのある文化人・芸術家に焦点をあてたアーカイブ事業では、出演者による講演会の開催、完成したDVDを利用して区民が自主的に上映会を開くなど、作品が広く活用される兆しが生まれてきています。</p>			
	今後の予測	<p>平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、国民が個性豊かで魅力ある地域社会で潤いのある豊かな生活を営めるよう、それぞれの地域の実情に応じた環境を整備していくこととなりました。杉並芸術会館、杉並公会堂、区施設やまちなかギャラリー等を活用し、日々の生活の中に文化・芸術を浸透させていくと共に、杉並の魅力を一層発信していく必要が出てくると予想されます。</p>			
評価と課題	<p>日本フィル友好提携事業については、日フィル公会堂シリーズ、小中学校への出張音楽教室等を通して、区民そして次世代を担う子供たちが文化・芸術に触れる機会を確保するとともに、単に回数を増やしていくのではなく、アンケートを活用し区民の要望にそった魅力あるプログラムを実施していくことで質の向上を目指していきます。文化・芸術活動助成については、「文化・芸術振興審議会」における審議を踏まえて、より区民活動の実情に即した助成となるよう検討します。アーカイブ事業については、仕様書の一部見直しを行い、小中学校での活用を意識した内容としていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>文化・芸術活動の振興を図るため、「文化・芸術振興審議会」における審議を踏まえ、区民や区内に拠点を持つ団体が行う多様な文化活動や創造的な芸術活動を支援します。                      また、区民が広く文化・芸術に親しむ機会の充実を図るため、古典の日に係る事業等を実施するとともに、区民の文化・芸術活動に関する情報の収集・発信を効果的に行います。                      さらに、文化・芸術を活かしたまちの魅力づくりを進めるため、まちなかギャラリーの発掘やそれらを活用したアートイベントの開催等を協働提案事業として実施します。</p>			

# 平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00073)

事務事業名称 杉並芸術会館の維持管理			款 03	項 01	目 03	事業 003	整理番号 077				
現担当課名 文化・交流課		係名 文化振興担当係		連絡先電話番号 3783		昨年度整理番号 073					
上位施策No・施策名 30 文化・芸術の振興						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成15年度									
	平成26年度担当課名	文化・交流課				事業評価区分 一般					
	対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立杉並芸術会館条例 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図ります。区民との協働により施設を運営し、地域の賑わいの創出など、地域の振興を図ります。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数=3時間常×開館日×2室 芸術文化普及振興事業の実施延回数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を企画・企画する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	ホール利用率 ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数 芸術文化普及振興事業への参加者数 公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数						
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標(1)	1	回	2,008	2,010	2,009	2,010	1,977	2,010	98.4	
	活動指標(2)	2	回	542	550	564	550	530	550	96.4	
	成果指標(1)	3	%	78	80	78	80	77	80	96.3	
	成果指標(2)	4	人	71,000	100,000	75,000	80,000	70,000	80,000	87.5	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	258,566	273,505	268,701	284,755	280,020	287,664	平成26年度 予算執行率(%) 98.3	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	238,325	244,135	244,131	263,916	263,848	264,171		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.36	1.50	1.78	1.50	1.94	1.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	11,832	12,945	15,361	13,215	17,091	13,215	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	270,398	286,450	284,062	297,970	297,111	300,879		
	単位あたりコスト (14÷6)÷1	15	円	134,660	142,512	141,395	148,244	150,284	149,691		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	11,377	13,666	12,982	15,000	10,500	15,765	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	4,400	5,900	900	900	900	900		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	15,777	19,566	13,882	15,900	11,400	16,665		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	254,621	266,884	270,180	282,070	285,711	284,214		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	077	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（指定管理者）	1	館	268,014	
		芸術監督報酬				4,200
		運営懇談会開催	3	回		351
		その他（芸術文化普及振興事業費補助金ほか）				7,455
(2) 事業実績	<p>指定管理制度により、芸術監督の監修のもと年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、区民等への施設の貸出業務や保守管理業務等、施設の維持運営を行いました。芸術文化普及振興事業の充実並びに施設の適正な運営及び管理を図ることを目的として、運営懇談会を開催し、これまでの実施・運営状況について広く意見を求めました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>高円寺会館改築後の施設（杉並芸術会館）に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにしました。施設の運営に関しPFI方式も検討されましたが、指定管理者制度を導入することになりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>小劇場（座・高円寺1）や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール（座・高円寺2）、阿波おどり利用を優先した阿波おどりホール等を有し、多くの人々が集い、新しい時代の個性的な芸術文化施設として、地域住民や区内他地域、文化関係者から高い関心と期待が持たれています。</p>				
	今後の予測	<p>平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、国民が個性豊かで魅力ある地域社会で潤いのある豊かな生活を営めるよう、それぞれの地域の実情に応じた環境を整備していくこととなりました。引き続き、地域住民の文化芸術活動・阿波おどりの活動や、「高円寺4大まつり」を始めとした地域イベントの拠点となり、高円寺をはじめとした杉並の魅力を発信していく役割が期待されています。</p>				
	評価と課題	<p>「座・高円寺地域協議会」の活動を中心として、高円寺の街に本施設を支援していく機運が生まれ、また、「高円寺4大まつり」の開催が定着し毎回多くの来街者を集める等、地域活性化への動きにつながっています。区内のみならず区外からも人の流れを呼び込んでいる成功事例として、今後も同協議会を中心に地域の方々と意見交換を行いながら高円寺の活力向上・魅力発信を行っていくことが求められています。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	対象外			
	今後の進め方	<p>地域の文化拠点として本施設ならではの良質で多彩な事業を提供していくため 国の「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」補助金などを活用していきます。また、「座・高円寺地域協議会」と連携し、文化・芸術を通して杉並区内外へ向けまちの魅力を発信し、地域活性化につなげていきます。そして、芸術監督の指揮・監修のもと、より親しみやすく質の高いサービスの提供を行っていきます。</p>				

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00075）

事務事業名称		杉並公会堂（PFI事業）			款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	079		
現担当課名		文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	075				
上位施策No・施策名										30 文化・芸術の振興		予算事業区分			投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成18年度														
	平成26年度担当課名	文化・交流課			事業評価区分										施設維持管理	
	対象	区民、文化・芸術団体			根拠法令等	(1)		民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律								
						(2)		杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていきます。			活動指標	指標名（1）		自主事業実施回数								
					指標名（2）		ホール・スタジオ等の利用件数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。公演など自主事業を行うほか、区民が気軽にご利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を行う。			成果指標	指標名（1）											
					指標名（2）											
					指標説明											
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
		実績	計画	実績	計画	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	回	38	35	34	36	37	34	102.8						
	活動指標（2）	2	件	23,397	25,000	23,756	25,000	23,445	25,000	93.8						
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	893,989	898,862	898,644	926,845	926,076	950,318	平成26年度 予算執行率(%)	99.9					
	（内）投資的経費等	6	千円	893,989	898,862	898,644	926,845	926,076	950,318	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	893,989	898,513	898,295	926,067	925,665	950,318							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.54	0.50	0.56	0.50	0.55	0.50						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,698	4,315	4,833	4,405	4,846	4,405						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	898,687	903,177	903,477	931,250	930,922	954,723							
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	123,632	123,286	142,147	122,361	130,973	129,559							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	898,687	903,177	903,477	931,250	930,922	954,723							
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	079	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		施設サービス購入料		2	回	510,569
		維持管理・運営サービス購入料		4	回	415,096
	その他（案内表示修理ほか）					411
(2) 事業実績	<p>PFI事業として杉並公会堂施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支払いました。また、道路埋め込み案内表示の修理を行いました。</p> <p>平成26年度は、区、日本フィル及び公会堂の三者による実行委員会方式の協働事業である日本フィル杉並公会堂シリーズを4回を含め、自主事業の公演を計37回行いました。また、ホール、スタジオ等の利用が23,445件ありました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>平成23年度に杉並区文化協会が解散して以降、区の中心的な文化事業の担い手として、共催事業を含む自主事業を26年度も37回開催するなど、引き続き積極的な運営を行っています。その内容も、世界的に活躍する著名な演奏家や団体、日本を代表するアーティストによる鑑賞型の公演のみならず、参加型の公演も実施するなど多彩なものとなっています。</p> <p>施設面においては、引き続き設備等の修繕・備品等の更新を的確に行っていくことが課題となっています。また、平成28年度に開館10周年を迎えるにあたり、公会堂の魅力をより高め、広く発信していく事業等が求められています。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					